



温故知新



2024年2月5日 安全祈願へ行ってきました

2月5日、今にも雪が降ってきそうな中、無事故無災害の年になるようにと川崎大師へ安全祈願に行ってきました。今年も無事故無災害の継続と安全作業をどうぞよろしくお願い致します。



【今号の主な内容】

- P① 安全祈願
- P② 年度末労働災害防止強調月間
- P③ 転倒災害を撲滅しよう
- P④ ことわざ・次回案内



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

- ミイラ取りがミイラになる ●
・二次災害を起こさないように

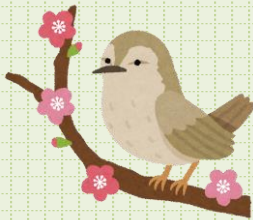


「ミイラ取りがミイラになる」とは、ミイラを取りに行った者が、ミイラになってしまうということで、人を連れ戻すために使いに行った者が、相手と一緒にそこにとどまって、連れ戻す役目を果たさないでいるときなどにつかわれることわざです。

タンクの中などで、酸素欠乏で倒れている人を救出するために中に入って、次々に倒れた事例が各所で発生しています。救出に入った人は、自分も同じように被災するとは思ってもいなかったのですが、文字通りミイラ取りがミイラになるケースです。

酸欠事故に限らず、身近で異常な事態が発生した時、大抵の人は前後の見境がつかず直線的な行動をとりがちです。その結果かえって状況を悪くして、二次災害を引き起こしてしまう例があります。

酒場に行った友達を連れ戻すのには酒の飲めない人が適役と言われています。雰囲気におぼれず、状況の判断が正確にできるからです。危険な時ほど“しらふ”が大切です。



【 職長会のお知らせ 】

- ★日時 2024年3月19日(火)
- ★時間 18時00分～
- ★会場 銀座ユニーク7丁目 N302



転倒災害を徹底撲滅！！



■転倒災害の特徴■

- ① 転倒災害が労働災害の中で最も多い！
(労働災害全体の約4分の1を占めます)
- ② 特に高年齢層で多く発生
(55歳以上と未満では約3倍近く発生件数に差があります)
- ③ 休業1ヶ月以上が約6割
(ただ転んだだけと思っても想定外に長引くことも…)
- ④ 冬季に多く発生
(冬季は筋肉や関節等が固まりやすいので要注意)
- ⑤ 発生件数が増加傾向にある
(10年前と比べて転倒災害の死傷者数が約36%も増加)

■転倒災害の主な原因■



すべり

- ・床が滑りやすい素材
- ・床に水や油が飛散
- ・滑りやすい異物が床に落ちている
- ・路面等が凍結している



つまづき

- ・床に凹凸や段差がある
- ・床に材料やコードなどが放置



踏み外し

- ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での昇降

■転倒災害防止対策■

- ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底する
- ・KY活動を行い事前に危険箇所を把握する
- ・転倒の危険性があるところに目印をつけ、共有する

人は焦ると何もないところで転倒することもあります！
時間に余裕を持って焦らずに行動することも
転倒防止に繋がります。

スマホを操作しながらの歩行は
もちろん禁止です！
通話しながらも注意力が散漫に
なるので気をつけましょう！



令和5年度 建設業年度末労働災害防止強調月間実施要領

本月間：令和6年3月1日～3月31日

会長メッセージ

令和5年度の「建設業年度末労働災害防止強調月間」を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

建設業における労働災害は、会員各位をはじめとする関係者の熱心な日々の労働災害防止活動により長期的に減少傾向にありますが、近年は下げ止まりの状況にあります。令和5年12月の労働災害発生状況の速報値では、建設業における労働災害は、死亡災害、死傷災害ともに前年同期に比べて減少しておりますが、建設業の労働災害で最も多発している墜落・転落災害については、依然として死亡災害の約4割、死傷災害の約3割を占めており、なお一層の取り組みが求められます。

当協会といたしましても、本年度を初年度とする「第9次建設業労働災害防止5か年計画」の目標達成に向けて、労働災害のリスク低減に向けた店社及び現場でのリスクアセスメントとその結果に基づく対策の確実な実施、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム（ニューコスモス及びコンパクトコスモス）」の導入・定着、各種安全衛生教育の実施など、実効性のある事業を積極的に推進してまいりますので、関係各位のさらなるご協力をお願い申し上げます。

これから迎える年度末は、多くの建設工事が竣工を迎え、作業の輻輳による労働災害の増加が懸念されることから、当協会では、3月1日から31日までの間を「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定め、協会及び会員各位が取り組むべき事項をまとめた本実施要領を策定いたしました。

会員各位におかれましては、無事故・無災害で新年度を迎えられるよう、経営トップのリーダーシップの下、関係者及び店社と作業所が一体となって、労働災害防止活動を積極的に展開されますようお願い申し上げます。

令和6年2月

建設業労働災害防止協会会長 今井雅則

